

# 競 技 注 意 事 項

## 1 競技規則について

本記録会は、2024年度（財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本記録会要項及び申合せ事項よって行う。

## 2 競技場使用について

- (1) 競技開始後のウォーミングアップは、バックストレート等を使用する。
- (2) 競技において、裸足は、一切禁止する。
- (3) 雨天走路内は、招集所、および、選手の控え場所として使用する。ただし、更衣室は、使用できないので、トイレ等を利用すること。

## 3 競技者の招集について

- (1) トラック競技の招集は、雨天走路とし、フィールド競技の招集は、各ピットとする。
- (2) 招集時刻は、競技開始時刻10分前を原則とする。
- (3) 競技者は、招集時刻までに、各招集場所に集合し、点呼を受け、係員の誘導に従って入場する。
- (4) 競技への出場をやむを得ず棄権する時、招集時刻までに本人、もしくは、保護者が、その旨を競技者係に連絡する。

## 4 競技運営について

- (1) レーンで行う競技種目について、1・2年50mと3年の100mは、1・3・5・7・9の奇数レーン、40mHは、2～4レーン、80mHは、6～9レーンを使用し、棄権者があった場合、そのレーンは、空けたままとする。
- (2) 時計は、写真判定機（1/100秒）とする。
- (3) トラック競技は、全てタイムレース決勝とする。
- (4) 小学3年生以上は、スタプロを使用し、コールは、全てインクグリッシュコールで行う。
- (5) フライング（不正出発）は、3回で失格とする。
- (6) 40mHは、高さ50cm、台数4台、アプローチ13m、インターバル6.5mとする。
- (7) 80mHは、高さ5年生60cm、6年生70cm、台数9台、アプローチ13m、インターバル7mとする。
- (8) 走高跳は、同一の高さ2回以内の試技とし、正面とび（はさみとび）を有効試技とする。脚から着地しない場合は、無効試技とする。  
○バーの上げ方は次の通りとする。  
(練習 90) 95 100 105 110 115 118 120 122 124) 以降2cmずつ上げる。
- (9) 立幅跳は、2回試技、幅跳びと走幅跳は、3回試技とし、有効試技のみ計測する。全てファウルの場合は、最終試技を参考記録として計測する。
- (10) 抗議は、競技規則第147条③にのっとり、審判長に口頭で申告する。

## 5 ナンバーカードについて

○トラック競技は、全ての種目、腰ナンバーシールを右臀部に貼る。

## 6 用器具について

○競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。

## 7 表彰について

○各種目8位以内の選手に賞状を授与する。

## 8 その他

○速報記録は、GRFホームページに随時掲載する。



QRコード